

令和 6 年度 議員と語っちゃオ！！ 記録

- 【開催日時】 令和 6 年 10 月 12 日(土)
(昼の部)午後 1 時 00 分から 午後 3 時 00 分まで
(夜の部)午後 6 時 00 分から 午後 8 時 00 分まで
- 【開催場所】 総合福祉センター(いきいき元気館)3 階交流ひろば
- 【出席議員】 【議長】 横山真 【副議長】 井上登
近藤一美 森山博美 藤森靖明 藤森綾子 岩波万佐巳 吉澤美樹郎
牛山実弦 小泉正幸 高木智子 大津学 小山博子 伊藤浩平
(議会改革推進特別委員会 再掲)
【委員長】 吉澤美樹郎 【副委員長】 小山博子
【委員】 近藤一美 藤森靖明 藤森綾子 大津学 井上登)
- 【欠席議員】 牛山正
- 【議会事務局】 事務局長 藤森一彦 次長 長田一彦
- 【参加者】 12 名 (昼の部)6 名 (夜の部)6 名
- 【報道】 2 社(長野日報社・諏訪市民新聞社)
- 【アンケートで出された意見・感想(明らかな誤字以外、原文まま)】
- ・議員のやりがい等を積極的に発信することを望みます。市政、市議会に対する関心を高めることにも、投票率を高めることにも、議員のなり手の次世代を育てることにもつながっていくと思います。議員報酬アップの理解にも影響すると思います。
 - ・様々な意見がきけて、勉強になりました。
 - ・明確なテーマでの“語っちゃオ”なので、議論が散らばらなかった。←良い
 - ・議員報酬について改めて考えさせられました。特に議員さんのお考えがたっぷりきけたのは良かったです。情報発信は難しいかもしれませんが、議員の仕事の魅力や面白さ、やり甲斐なども市民にわかってもらおうと議員に関心をもってもらえるかもしれません。
 - ・議題が広範囲であり、難しかったです。時間的にも、もう少しディスカッションの時間があればと思います。
 - ・市民がより良い地域になるように、みんなで良くなるように頑張ってください。
 - ・市会議員の実態を知ったような気がします。
 - ・議員さんの苦労など我々の理解していなかった面もわかりよかった。
 - ・もっと若い人々の考えが聞ける機会を作り、対応していく必要を感じた。
 - ・語っちゃオの回数を増やす。現場に出向く、区の会議とか・・・
 - ・議員活動の内容 情報発信・具体的な事例を挙げてほしい。
 - ・広報活動
 - ・市民の会に参加・顔を出す。
 - ・議員は公人なのである程度はがまんが必要。
 - ・議員さんの生の声が聞けて良かったです。同じ人間としてキョリがちぢまったと感じました。また、この様な機会を設けていただきたいと思います。

【参考】

参加者内訳(受付カード提出者)

男	女	その他	計
10	2	0	12

上諏訪	豊田	四賀	中洲	湖南	その他	計
4	1	2	4	1	0	12

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
0	0	0	1	2	4	4	1	12

アンケート内訳(アンケート提出者)

男	女	その他	無回答	計
9	2	0	0	11

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
0	0	0	1	2	4	4	1	12

【参加のきっかけ(複数回答可)】

友人	広報すわ	ホームページ	新聞報道	公式LINE	ポスター	その他	計
5	3	1	2	1	0	2	14

・議員に誘われて

【議会だよりについて】

いつも読む	たまに読む	知っているが 読んでいない	知らない	計
9	2	1	0	12

【傍聴経験について(複数回答可)】

ある		ない	計
議場	かりんチャンネル		
6	3	5	14

【今後の傍聴希望】

はい	いいえ	計
12	0	12

※複数回答可能な設問や回答されていない項目があるため、アンケート提出者数と必ずしも一致しない。

令和6年度「議員と語っちゃオ!!」 報告書

※主な意見等を報告者が要約・文責。また、個人等名は伏せさせていただいております。

報告者：藤森綾子

意見交換会名等	令和6年度「議員と語っちゃオ!!」
日 時	令和6年10月12日（土） 13:00（Aグループ）
会 場	総合福祉センター 交流ひろば
市民2名 議員4名 ◎進行係 井上 登 ○取りまとめ 書記 藤森 綾子 吉澤美樹郎 牛山 実弦	◎皆さん議員になりたいと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・ 議員になりたいという気持ちはあった（30年若かったら） ・ なりたくない。地域のことを知らないとならない。 （議員）なぜ議員になったのか？ ・ 市民のための市政になるように。 ・ 町に活気が欲しいと感じた事がきっかけ。 ・ 地域活動の取組、観光の発展のため。 ・ 女性や子供の応援をしたいと思った。 ◎皆さんの周りの方に議員になるよう勧めたいと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・ 勧めたいが女性や若者には選挙のハードルが高いから勧められない。今の仕事と議員報酬のバーターにかけると勧められない。 ・ 勧めたい。ただし判断力や変える力が必要。 （議員） ・ 同じ意見、志を持った人に勧めたい。 ・ 多様な人材を必要とするため勧めたいと思う。 ◎率直に現在の議員報酬について、十分だと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・ 生計が立てられるよう報酬を引き上げるならば市民の合意が必要。 ・ 十分だと思う。何をしてもどのくらい時間をとっているのか市民に説明が必要だと思う。 ・ ボランティア的に議員をやる海外の例もある。 ・ 議会開会中だけ手当をだせばよいという考え方もある。 ・ 議会議員の市民評価があってこそ、報酬についての評価ができるのではないかと。 （議員） ・ 若い世代がなるには十分ではない。 ・ 立場や条件にもよるが全体的に足りないように思う。 ・ 保険等もないので人材確保の面では少し厳しいと感じる。 ・ 今までの仕事に比べれば十分である。 ◎多様な人材が選挙に手を挙げるにはどうしたら良いと考えますか？

	(市民) ▪ 市政や市議会と自分の生活に結び付ける機会を増やす。 こども議会や議会モニターなど。 (議員) ▪ 選挙の仕方を知ってもらう。 ▪ 選挙の有り方、保障面の改善。 ▪ どんなことをやっているのかなど、議員活動を見ってもらう。 ▪ 議員になるハードルを下げる。定数を増やす。年金制度を作る。
--	--

令和6年度「議員と語っちゃオ！！」 報告書

報告者：藤森靖明

意見交換会名等	令和6年度「議員と語っちゃオ！！」
日 時	令和6年10月12日（土） 13：00（Bグループ）
会 場	総合福祉センター 交流ひろば
市民2名 議員5名 ◎進行係 近藤 一美 ○取りまとめ 書記 藤森 靖明 森山 博美 高木 智子 伊藤 浩平	◎皆さん議員になりたいと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・議員の仕事について、よくわからないので、自分がなりたいかと問われると議員として働けると思わない。 ・地区のニーズに合ったサービスが提供できるようなら議員になる道も。 （議員） ・小さな声を届けたい。なってよかったと考えており、やりがいを感じている。 ・地域に議員がいなくなったから。 ・中洲区長会長を2期やって市政と民間とのギャップを感じて。 ◎皆さんの周りの方に議員になるよう勧めたいと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・特に意見無し。 （議員） ・勧めたい。しかし特に女性のハードルは高い（報酬・組織づくり・仕事・家庭とのやりくり・自分の子の卒入学式や運動会に行けなかった・市民相談・区会の出席等）。 ・議員になることを勧めます。様々な職業の議員が必要。 ・困りごとを伝えていきたい。 ◎率直に現在の議員報酬について、十分だと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・図やグラフを中心に目に見えるようなデータが不足しているので、判断できない。 ・議員報酬以外に副業を持たないと生活できないなら、議員の成り手がなくなる。ある程度の金額は保証しないとイケない。 ・議員数に乗じた報酬額と市の予算の比率割合の資料を望む。 ・市議会議員は、子供の未来を作っていく仕事だと思う。議員がお金にキュウキュウとしている、夢を見せる側に夢がないのは悲しい。 ・議員になりたいが、生活ができないという理由で議員にならない人もいると思われる。 ・市民アンケートで、「もし議員になったら希望報酬額は？」と聞くのはどうか。 （議員） ・若い人が議員の成り手となるように報酬を上げる。

	・私は充分である。子育て中の40代の方にとっては不足、年収580万円は少ない。厚生年金も無い。 ・他の市町村の予算規模との比較については、今後参考になる。 ・報酬が少なければ若い人に勧められない。議員報酬を上げていかないと成り手もない。東京のように高いと色々な人が出てくる。 ・1つの例として、市長報酬（常勤）を参考に、議員は月10日程度として、半分ぐらいの要求をする考え方もある。 ・県内19市の議員報酬について、委員長の報酬が1市のみ加算されている。それについても協議していただきたい。 ・以前の審議会では、「女性のアルバイトで14万ぐらい稼ぐ。それよりもらっているからいいのでは」との話があったと聞いた。 ◎多様な人材が選挙に手を挙げるにはどうしたら良いと考えますか？ （市民） ・「議会だより臨時版」のような議員の生の声を一般市民が知る機会を作ってはどうか。 ・議員がこんなことをこういう考えでやっている。このような喜び、こんな苦しみがある、という特集が欲しい。 ・家は増えないし空き家も出てくる。その中で若い人も入れながら、頑張らないといけない。 ・諏訪市の議員が高齢過疎化にならないためにも、後継者をつくってもらいたい。 ・議員は公の行事出席などで、時間が拘束され自らの時間がなくなる。そういった議員の生の声を一般市民に届けてほしい。 ・議員はやりがいがあり、こういうことをやって嬉しかったというような、発信をすれば、俺もやってみようという人も出てくるかもしれない。 （議員） ・地域のつながりが大切。 ・多様な人材、同級生無し、親戚なしでも議員になれる。チャレンジしてみてもどうか。 ・議員の仕事だけでは、家族を養っていくことはできないため、仕事を辞めてまでやるという人がいなくなる。 ・会社の理解があれば勤めながらできるが、そういう人しかできなくなる。 ・「多様な意見を集めるのが議会」とすれば、自分で会社経営をしている人だけが議員になれるようなことは疑問である。 ・仕事を他に2つ持ち兼業であるため議員ができると思う。 ・職業議員としてやれるかといったら、魅力がない。 ・年金をもらっている方が、その村の代表として出てきたというのが要因。 ・若い人の意見を聞く相手がいないならば、若い人たちも憧れるような職業であってほしい。 ・国民健康保険で、国民年金と言ったら、何の保障もない。4年に1度選挙、お金がかかり、メリットがない。 ・やれる人が限られるなというのは感じている。もし3人の子供を、大学まで出すと思ったら、議員はやれないと感じている。
--	---

	・ 80 代の人と同じ金額で、借金無し年金も貰えるのであれば、報酬について全く不満はない。 ・ 民間企業だと住宅手当、家族手当と色々な手当があるように、格差をつけられればいいが、法律で議員は同一報酬となっている。
--	---

令和6年度「議員と語っちゃオ！！」 報告書

報告者：大津学

意見交換会名等	令和6年度「議員と語っちゃオ！！」
日 時	令和6年10月12日（土） 13：00（Cグループ）
会 場	総合福祉センター 交流ひろば
市民2名 議員5名 ◎進行係 小山 博子 ○取りまとめ 書記 大津 学 岩波万佐巳 小泉 正幸 横山 真	◎皆さん議員になりたいと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・ 思わない。若ければいいが、年齢が70を超えているので。 ・ 思わない。大変そうに見えるから。 ・ 落選した時の保障がない。 ・ 選挙や活動のサポートがないと難しい。 ・ 健康を保てる環境でないと。 ・ 家庭のことは大丈夫だと言えないと難しい。 （議員） ・ やりがいはあるが、プライベートがなくなるので、覚悟や家族の同意がないとできない。 ◎皆さんの周りの方に議員になるよう勧めたいと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・ 思わない。辛そう。楽しそうでない。 ・ 議員になってほしい人が周りにいない。いても、一家を支えるのに十分な報酬でないと難しい。 ・ 議員の資質は、組織や地域に推されていれば、その人はそれなりにあるのだろうが、若い人がやるためには周りからのサポートが必要ではないか。 （議員） ・ 特に意見無し。 ◎率直に現在の議員報酬については、十分だと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・ 十分ではない。財産があるか所属組織が応援してくれて絶対当選できるかでないと選挙費用も賄えない。 ・ 現役世代が仕事をなげうってまでやる額ではない。50万円もらっていても子供2人を育てているとカツカツ。 ・ 報酬が安い。若い時に議員になった人が、子どもを育てるためにアルバイトをしていたという話を聞いたことがある。 ・ 議員の雇い主は市民、国民。仕事しない人には報酬をあげたくない。 ・ 市民による議員の評価制度がない。 （議員） ・ 報酬や生活の基盤が十分でなければ、若い人が挑戦できない。 ・ 報酬は条例で決まっており、個々の議員の加算や減額が難しい。

	◎多様な人材が選挙に手を挙げるにはどうしたら良いと考えますか？ (市民) ▪若い世代を育てる。 ▪楽しさを伝える。魅力を伝える。休暇を取ってでも傍聴に来るということはない、ということは面白くないということ。 ▪傍聴に来てもらう。忙しいと言われても「ちょっと来ない？」と誘うことも必要。 ▪議員と触れ合う機会がないと、議員を知らないままになってしまう。若い人、忙しく働いている人はその機会がない。例えば区の役などをやると「やってよかった」と思えるので、いかに機会をつくるか。 ▪やりがいを感じるには自分に何か戻ってこない。議員活動を評価する仕組みがあればいいのでは。 ▪世のために、と思う人もいるが、その人が出られるようにするためにも十分な報酬を。 ▪産休・育休を取るのも難しい。男女で差がある。 ▪議員の子どもを安心して預けられる託児環境が必要。 (議員) ▪若い人に伝えていくことが弱い。それを押し進めていくためにも報酬が十分でないと。 ▪楽しんで、というよりその境地まで達していない。 ▪面白くなかった、楽しくなかったとしても、やりがいはある。 ▪男女とも休みが取れる社会になりつつある。子供を預けて議員活動できるような環境を整える必要がある。
--	---

令和6年度「議員と語っちゃオ！！」 報告書

報告者：藤森綾子

意見交換会名等	令和6年度「議員と語っちゃオ！！」
日 時	令和6年10月12日（土） 18：00（Aグループ）
会 場	総合福祉センター 交流ひろば
市民3名 議員5名 ◎進行係 井上 登 ○取りまとめ 書記 藤森 綾子 岩波万佐巳 牛山 実弦 大津 学	◎皆さん議員になりたいと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・ 現在ではなりたくない。若い時なら。 ・ 半々。故郷である諏訪に何らかの貢献をしたいとは考えている。マイナス面は落ちたら保障がない。保険などの保障がないこと。 ・ 全くの素人なのでなれるとは思わないが、役に立つのであればとの思いもある。 （議員）議員になったわけ ・ 弱い立場の人に光をあてるため。 ・ 世の中には差別があるため、きちんとした場所で発言しないと変えられない。 ・ 周りから推されて議員になった。政治に関心があった。 ◎皆さんの周りの方に議員になるよう勧めたいと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・ 地域に根差している方、思いがある方、発言力がある方がいたら勧めたいと思う。 ・ 残念ながら、なかなかいない。 ・ 思いません。人材がいない。 （議員） ・ 女性に勧めているが、私にはできないという人が多い。 ・ 勧めたいが、学ぶことが多い、議会がなくてもやることが多い、生活を維持していくのが大変、誰でもなれるものになっていない、などで難しいと思う。 ・ 同じ志、目標であれば勧めたい。 ・ 地域の課題、世代をつなぐため、勧めたい。 ◎率直に現在の議員報酬について、十分だと思いますか？ 思いませんか？ （市民） ・ 少ない。せめて40万円超。活動費が少な過ぎる。 ・ 少ない。憧れ感がない。 ・ 活動内容がよくわからないから判断できない。 （議員） ・ 若い世代には少ない。生活できない。 ・ 年金制度がなくなったこと等が厳しい。 ・ 決して少ないとは思わないが、色々な補償がないことを考えると必ずしも多いとは言えない。市民の収入から底上げすべき。

	◎多様な人材が選挙に手を挙げるにはどうしたら良いと考えますか？ (市民) ▪ 議員報酬のアップ。年齢による増額。生活の保障。 ▪ 諏訪にはどんな人材が必要なのか、問題意識のある人がいない。 ▪ 現役世代の発信力、アイディア、視点、パワーが必要。 ▪ ネット投票制度。 (議員) ▪ 議会や選挙の研修、講座を開催して関心を持ってもらう。 ▪ 学校での教育、情報の公開。 ▪ 出やすい条件整備（報酬、社会環境、選挙制度など）。
--	---

令和6年度「議員と語っちゃオ！！」 報告書

報告者：近藤 一美

意見交換会名等	令和6年度「議員と語っちゃオ！！」
日 時	令和6年10月12日 18:00 (Bグループ)
会 場	総合福祉センター 交流ひろば
市民3名 議員5名 ◎進行係 藤森 靖明 ○取りまとめ 書記 近藤 一美 森山 博美 高木 智子 伊藤 浩平	◎皆さん議員になりたいと思いますか？ 思いませんか？ (市民) ・ なりたくない。 ・ 地域を挙げての応援がないと難しい。 ・ 強い社会奉仕の精神が必要。 ・ 議員活動が市民に正當に評価されていない。 (議員) ・ 議員としてやりがいを感じており、地域の絆を大切にして、地域のために活動しており今後も活動したい。 ・ 実際に議員になって議会での活動だけでなく、生活すべてが活動の場であり相当心身共にタフでないと務まらないと感じる。 ・ 難題はいろいろあるが、市民からありがたいと言ってもらえると嬉しく思う。 ・ 議員になって思うのは、今の報酬、議員活動に対するやりがいの問題、市民の議員活動への評価等から厳しい仕事だと認識している。 ◎皆さんの周りの方に議員になるよう勧めたいと思いますか？ 思いませんか？ (市民) ・ 勧めない。 ・ 議員としての職務の内容が良く理解できていないので勧めない。 ・ 地域の代表として、必要な能力のある方には勧めたい。 (議員) ・ 本人の意欲があり諏訪市のために頑張りたいという人には立候補を勧めたい。 ・ 意外とハードルが低く当選率88% (17名立候補の場合) である。 ・ 市民の代表であるので幅広い年齢層、さまざまな職業人からチャレンジして欲しい。 ◎率直に現在の議員報酬について、十分だと思いますか？ 思いませんか？ (市民) ・ 今まで考えたこともないので、いきなり高いか、安いと言われても判断がつかない。 ・ 今の報酬は子育てをしていく生活費として厳しいのでもう少し上げて良い。 ・ 政務活動費を廃止して報酬額に含める方が良い。 (議員) ・ 子供を養育して大学まで進学させるためには、現在の報酬では足りない。

	・子育てを終え、年金を受給している高齢者の場合は今の報酬額でもやっていける。 ・今は誰でも月額 349,000 円であるが、年齢、子供の人数、扶養家族人数との関係で報酬額が変動できる制度が必要と考える。 ◎多様な人材が選挙に手を挙げるにはどうしたら良いと考えますか？ (市民) ・議員の方から議員の仕事の内容や、やりがい等について情報発信をもっとすべきである。 ・特に 30 代から 50 代の市民に議員の魅力を訴える必要がある。 ・議員報酬の引き上げが必要と考える。 (議員) ・議員にも厚生年金制度の適用が必要。現状は国民健康保険が適用され、老後の年金受給額が基礎年金のみになり老後が不安定。 ・退職金制度の適用はないので、民間会社と比較して老後が不安定。 ・4 年ごとに選挙があり身分的にリスクがあり、なり手不足の要因となっている。 ・不安要因を少しでも取り除くためには、議員報酬の引き上げは有力な手段と考える。
--	--